

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和7年7月号 No.218

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

木防(きぼう)プロジェクト

日本は地震大国と言われ、近年では気候変動の影響もあり台風や大雨の災害も増えています。昨年11月、政府は「防災庁」の設置に向けて準備室を立ち上げました。

防災への意識が高まる中で、木産協としても自治体や公的団体と連携しながら組合員の皆様に向けた情報提供や防災イベントなどを行うことができないかと考えました。

そこで「木防プロジェクト」と銘打ち、半年程度の期間に亘って木産協の組合員企業の従業員が働く飛島村と弥富市のエリアに密着した情報を中心に提供し、講演会やシンポジウムなどの企画を実施することを計画しております。

皆様のお役に立てるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

名古屋港木材産業協同組合
理事長 服部 伸一

木防プロジェクト実行委員

江口 達郎 (名古屋港木材産業協同組合 副理事長)

上地 基之 (名古屋港木材産業協同組合 広報委員長)

成瀬 章司 (名古屋港木材産業協同組合 産業安全衛生委員長)

柿内 賢治 (名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会 事務局)

遠藤 伸治 (名古屋港木材産業協同組合 産業安全衛生委員)

佐治知加子 (名古屋港木材産業協同組合 事務局)

木防プロジェクト今後の活動方針

- ①名古屋港木材産業協同組合の組合員の安全・安心を守るための防災ハンドブックの作成
- ②木材ジャーナル内・又は別紙にて防災に関する記事を掲載することにより防災知識の充実を図る。
 - I 災害時に役立つ情報源の紹介
 - II 名古屋港周辺の地震・津波・液状化のリスクと対策、防災マイ・タイムライン (参考例)
 - III 名古屋港周辺の防災インフラの紹介
 - IV BCP策定手順 (参考例)
 - V 企業規模別備蓄量の目安・最新の防災技術や知識
 - VI 防災資機材の紹介・インタビュー等
- ③令和8年3月初旬頃に避難訓練を兼ねたシンポジウムを開催し組合員の防災意識の向上を図る

I. 災害時に役立つ情報源の紹介

飛島村・弥富市・名古屋港管理組合からの情報を紹介いたします。是非ご確認ください、ご自身の企業の避難場所・避難ルート等今一度確認いただき、防災意識の向上にお役立てください。

【飛島村】



防災・災害(災害に備えて)



避難所マップ(南部)



避難所一覧



防災アプリ



津波ハザードマップ表



津波ハザードマップ裏

【弥富市】



緊急時避難場所



市指定避難所



事前避難対象地域について



ハザードマップ



弥富市が発令する避難情報



名古屋港管理組合

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

Ⅱ.名古屋港周辺の地震、津波、液状化のリスクと対策

1. 地震リスクと対策

■ リスク

東海地震・東南海地震・南海地震などの「南海トラフ巨大地震」が想定されています。
名古屋港の港湾施設や物流拠点も震度6弱～6強の揺れが予測されており、建物の倒壊や火災、ライフライン寸断などの二次災害が懸念されます。

■ 対策

建物や施設の耐震化（古い倉庫・事務所の耐震診断と補強）
家具の固定や転倒防止器具の設置
従業員向けの地震対応マニュアル作成と訓練
事業継続計画（BCP）の策定と定期的な見直し

2. 津波リスクと対策

■ リスク

南海トラフ地震発生時には、伊勢湾口から津波が侵入する恐れがあります。
名古屋港周辺では津波による浸水が、飛島村や港区できわめて高い可能性があります。

■ 対策

ハザードマップの確認と、津波避難経路の明確化
高台や耐津波構造の建物への避難ルート確保
津波警報・避難指示に即応できる体制の整備
港湾関係者・従業員への津波避難訓練の実施

3. 液状化リスクと対策

■ リスク

名古屋港周辺の埋立地は地盤が軟弱で、地震時に液状化が発生しやすい地域です。
地盤沈下やインフラ（道路・水道・下水道など）の損傷、建物基礎の傾斜などが発生する恐れがあります。

■ 対策

液状化マップで危険度を確認し、地盤補強や免震基礎の導入を検討
地盤調査を実施し、必要に応じて杭基礎などの施工
液状化被害を想定した復旧体制・機材の整備
被害想定に基づくBCPシナリオの検討

※名古屋港木材産業協同組合 組合員向けに参考例として防災マイ・タイムラインを作成しました。
自社版を作成し是非ご活用ください。

防災マイ・タイムライン(参考例)

時 期	行動内容（主な対策）	担 当 者
平常時	・ 防災マニュアルの整備・見直し ・ 安否確認手段の周知（電話／LINE／安否確認システム） ・ 備蓄品（水・食料・トイレ・発電機等）の管理 ・ BCP（事業継続計画）の策定・訓練実施	総務・安全担当
警戒レベル 2 （大雨警報・台風接近）	・ 出勤可否の判断基準確認 ・ 外作業や荷役作業の中止検討 ・ 建材・フォークリフトの飛散・浸水対策 ・ 港湾の通行規制・情報収集（海上保安部・自治体）	現場管理者・総務
警戒レベル 3～4 （避難準備・避難指示）	・ 業務停止・全員退避の判断 ・ 事前退避（自宅／会社近隣の安全な場所） ・ 機材の高所移動・電源 OFF 確認	経営者・現場長
災害発生直後 （地震・津波）	・ 全員の安否確認（即時） ・ 施設損傷・火災の有無確認 ・ 危険区域への立ち入り禁止 ・ 初動の被害情報整理と報告	全社員・班長
発生後 1 時間～当日	・ 社内復旧作業の可否判断（安全優先） ・ 重要設備の点検（倒壊・漏電・火災リスク） ・ 家族との連絡・帰宅判断（徒歩帰宅ルート）	総務・班長
発生後数日以内	・ 協力会社・顧客への連絡・対応方針共有 ・ 復旧スケジュールと業務再開計画の立案	経営者・営業

◆ 自遊で異見番 ◆

「西部木材港で働き続けるために」

私は普段、毎朝、飛島村木場にある西部営業所へ出社しており、本社（堀川沿い）よりも飛島村で過ごす時間のほうが長くなっています。また、当社の各拠点の中でも、この西部営業所は最も従業員数が多い拠点です。

先月の名古屋木材組合の総会における組合長のご挨拶では、防災庁の創設が決定したことに関連し、南海トラフ大地震により本地区が甚大な被害を受ける可能性が高いこと、そして防災・減災への取り組みが一層重要であることが強調されました。加えて、震災後の復興に不可欠な木材の備蓄についても、我々業界に求められているというお話がありました。

重要な流通拠点である当社の西部営業所においても、いわゆるBCP（事業継続計画）の策定が急務です。とりわけ大震災に備えた具体的な対策を講じる必要性を、あらためて痛感しています。

東日本大震災以降、海に面した埋立地である西部木材港の津波リスクや液状化の懸念も認識し、一定の備蓄などは行ってきましたが「実際に起きたときにどうなるか？」という不安は拭いきれません。

当社の営業所は1987年春に開設されて以来、大きな災害による業務支障はありません。強いて挙げるなら、2000年9月の東海豪雨の際、営業所前の道路が冠水し、営業車2台が水没して動かなくなった程度です。しかし、100年～150年に一度とされる大地震が近い将来に発生すれば、無傷では済まないでしょう。

昨年の元日に発生した能登半島地震の際、被災した石川県の銀行員から「しっかりとBCPを策定していた企業は復旧が早く、復興の過程で震災前より業績が向上する傾向がある」と聞きました。

当社は機械設備等を持たず、従業員の働きとお取引先との信頼関係によって成り立っています。だからこそ、まずは従業員の安全を最優先し、そしてお取引先の安全確保にも注力していきたいと考えています。

◆ 合縁木縁 ◆

「虫捕りの魅力」

我が家にはこのご時世めずらしい「虫捕り少年」がいる。今年9歳になる長男は、幼少期より自分の身長以上の長さの捕虫網を使いこなし、今では大人顔負けの網捌きを習得している。ここまでのめり込んでいるのであれば、2023年夏に石垣島へ虫捕りメインの旅に家族で出掛けたのだが、それからすっかり恒例行事となり、昨年も同じ行程を楽しんだ。今年は場所を変え、沖縄本島北部を攻める予定だ。人に話すと、「わざわざ沖縄まで行って、観光やマリンアクティビティをしないの？」と不思議がられるが、これが我が家の楽しみ方なので仕方がない。

普段からひとけの少ない場所で虫捕りをするのが大半ではあるが、近頃、虫捕りをする子供達を見かける機会が少なくなったなあと感じる。身近において、所謂「普通の種」の虫が減ったという理由も考えられるが、大人世代を含めて虫嫌いな人達が本場に多いと聞く。子供が虫に興味を抱くことは健全なことではあるはずなのに、虫を毛嫌いする親は、虫を触る子供に対して、まるで汚いものを触るかのような眼差しを向け、その遊びを止めさせてしまう。公園などで幾度となく見たことのある光景だが、これでは子供と虫との距離が広がってしまうのは当然である。

虫は子供たちが最初に触れ合う生き物だ。捕まえようとした際、時には力加減を見誤って潰してしまうことだってある。しかしこうした体験を経て、生き物の命の尊さを知ることになる。それは決して、無駄な殺生ではない。スマホゲームの「ポケモンGO」のようなゲームの世界での狩り？遊び？を否定するつもりはないが、せめて子供達には、実世界での生き物との直接的な触れ合いを数多く経験して欲しい。攻略法などに頼らず、自身の集中力と忍耐力で虫を探し出し、腕と勘を頼りに捕虫網を振りかざす。勇気を出して触れてみれば、小さいながらも力強い命がそこにあることに気付けるはずだ。

解剖学者で昆虫学にも精通した養老孟司さんは、ある共著作品の中で、「虫も殺さない子供が簡単に人を殺す」と、現代を揶揄されていた。ぜひ、虫との触れ合いが昔のように、子供たちの身近な遊びになることを切に願っている。

今回は、株式会社フジトランスコーポレーション 酒井 祐介氏にお願いします。

熱中症対策義務化対応説明会開催

熱中症が重篤化する原因の大半は「初期症状の放置・対応の遅れ」です。労働者への熱中症対策を義務付ける労働安全衛生規則の改正が行われ、令和7年6月1日から罰則付き規定として施行されました。企業には熱中症の恐れがある作業者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適正に対処することが可能となるよう、体制整備、実施手順の作成、関係作業員への周知が義務付けられます。

令和7年6月3日(火) 13時半から名古屋港木材会館 会議室にて19社25名の参加で津島労働基準監督署の安全衛生課長(厚生労働技官)をお迎えして熱中症対策義務化に伴う対応策等について説明会を開催していただきました。名古屋港木材産業協同組合の成瀬章司産業安全衛生委員長は、冒頭に「これから本格的な夏を迎えるにあたり、現場や倉庫内での作業、屋外での作業においては、例年以上に熱中症のリスクが高まることが予想されます。今年度も全国的に厳しい暑さが予報されており、対策の徹底がかかせません。この説明会をそれぞれの会社に持ち帰り対策に役立ててください。」と挨拶されました。



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

夏休み・お盆期間の防犯対策していますか？

長期休暇は空き巣被害や不在店舗に対する侵入盗被害が多発する傾向があります。

- SNSなどで旅行の予定を不用意に発信しない
 - 現金や貴金属などをなるべく家に保管しない
 - 侵入口となる窓やドアに補助錠を取り付ける等の対策をする
- 留守が多くなる時期が来る前に、防犯対策を見直しましょう。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

Technology for Clean Air & Bulk Handling

INOUE

集塵装置の省電力・安全
木質バイオマスの利活用

ご提案します!!

快適な環境づくりに取り組む
井上電設株式会社
〒460-0022 名古屋市中区金山4丁目3-17
TEL 052-322-5271 <https://www.inoue-d.co.jp>

リビングバスルーム

家族の心まで温めたいから、
みたくに

快適空間としての機能や
使い勝手は当然揃えながら、
「いいね」や「サプライズ」が詰まった
心まで満たせるバスルームが誕生

クリナップは
インスタグラム

発行 名古屋木材組合
発行者 西垣 洋一
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 服部 伸一
〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会